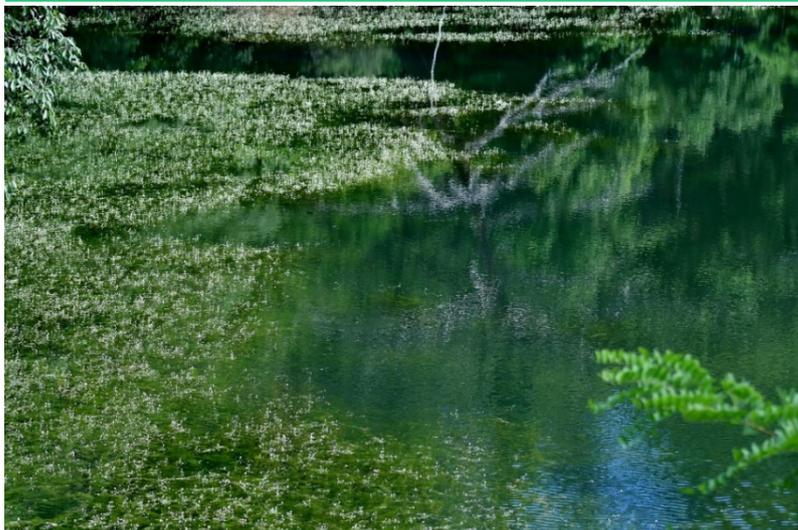


箕面の森 豊かな自然の恵みと災害の脅威



箕面の山間部にあるオケ原池／この時期に開花するハゴロモモ

ため池は、農業用水の利用だけでなく、大雨時には雨水を一時的にためる機能や土砂流出防止の役割をもつほか、生き物の生息・生育場所や地域の憩いの場所になるなど、多面的な機能を有しています。

しかし、老朽化したため池は、大雨や大規模な地震などで決壊した場合、大きな被害をもたらす恐れがあるため、日ごろの管理が大切です。※オケ原池は、箕面市の非常用水源として管理されています。

箕面大滝と急峻な溪谷美、四季折々に美しい山なみ景観、多様な生物が生息するなど、山間・山麓部のみどり豊かな自然の恵みを求めて、大阪都心から近いこともあり、箕面の森には、海外を含めた多くの観光客が訪れます。

自然環境を保全するために、行政による法規制(山間部の国定公園の特別地域指定や山麓部の山なみ景観保全地区指定など)、市民や山林所有者による保全活動、中間支援組織であるNPO山麓委員会の取り組みなどが整えられてきました。

山なみ景観保全地区のうち、所有者が自然緑地指定に同意した面積の増加(2008年41.1%→2022年64%)や不法投棄ゴミの回収(約176トン、4.3万人参加)など、一定の活動成果が得られましたが、近年の自然災害の脅威など、さまざまな環境変化による新たな課題も明らかになってきました。

単に自然の恵みを楽しむだけでなく、自然環境がもたらす多面的な価値への認識を深めましょう。健全な森林が持つ多面的な機能(土砂の流出や山崩れ防止など)が最大限発揮できるよう、私たちが出来ることをみんなで考えましょう！

地球の生態系を維持する「きのこ」の大切な役割！

「きのこ」というと、下の写真のような「キノコ」を思い浮かべますが、「きのこ」の本体は、菌＝カビの集合体である「菌糸体」であり、土や樹木、落ち葉の中にひろがっています。

倒木や動物の死がいやウンチは、バクテリアや菌類などの働きによって「分解」され、土に戻ります。その土により植物(生産者)が成長し、植物を動物たち(消費者)が食べて、地球上のいのちは循環していきます。

「きのこ」などの菌類は、地球上の生態系を維持するための大切な役割を果たしています。菌やカビがなくなると、地球は倒木や動物の死がいやウンチだらけの地球になってしまう、かもしれませんね。



タマゴタケ



テングタケ



カパイロツルタケ



マンネンタケ



アイタケ



アカヤマドリ



クチベニタケ



ハチタケ(冬虫夏草)

みのお山麓保全活動 20周年記念イベント ～7月17日(月・祝)に開催～



箕面の山の未来をみんなで考えよう！

2023年 7月17日(月・祝)

場所：箕面文化・交流センター8階大会議室

プログラムの詳細は後述をご覧ください。



主催：箕面市・NPO法人みのお山麓保全委員会

これまでの山麓保全活動やNPO法人の活動を振り返り、これからの山の未来と一緒に考えるイベントを開催しますので、ぜひ、ご参加ください！

市の山なみ景観保全の施策から始まった山麓保全活動は「三者協働」の取り組みの中で、多くの山林所有者や行政、市民の皆さまの活動で支えられてきました。

気候変動の影響による自然災害の増加、シカの食害による森林生態系の劣化、山林所有者の山への関わり低下、ボランティアスタッフの高齢化、森林環境税などの財源の問題など、内外の環境が大きく変化しています。

これまでの実績や課題を振り返り、さまざまな環境変化に対応するため、これからの山のために何が大切なのか、私たちが出来ることをみんなで考えましょう！

日時：7月17日(月・祝) 13時～16時 事前申込100名 参加費：無料

「みのお山麓保全ガイドブック」改訂版進呈

場所：箕面文化・交流センター8階大会議室（阪急箕面駅前）

主催：箕面市・NPO法人みのお山麓保全委員会

報告：活動の歩み、助成の報告、ガイドブックの改訂版についてなど

講演：「北摂山系を含む大阪の森林の現状と課題、未来のあり方について」

LAまちづくり研究所所長・大阪府立大学名誉教授 増田 昇氏



「安全で楽しいボランティア活動をみんなで考えよう！」～8月5日(土)に開催～



山林整備のボランティア活動は、間伐や倒木整理により、暗い森に光が差し込むようになったときや、不法投棄ゴミを回収して、見違えるように山がきれいになったときなどで、大きな達成感や爽快感を与えてくれます。

そのような達成感や楽しさの一方で、箕面の山は急斜面が多く、ボランティア活動には、事故につながるリスクが潜んでいます。

どうしたら安全で楽しく活動できるのか、みなさんと一緒に考えたいと思います。報告や講演の後に、意見交換もさせていただきます。

日時：8月5日(土) 14:00～16:00(予定) 事前申込70名 参加費：無料

場所：箕面文化・交流センター 地下1階 多目的室①②

主催：NPO法人みのお山麓保全委員会

報告：山林整備ボランティア派遣の現状について

講演：「ボランティア活動の楽しさや協働の取り組みでの安全管理(仮)」

大阪ボランティア協会 森本 聡氏

講演：「山林整備活動における安全管理について」

日本森林ボランティア協会 川田 隆昭氏



夏でも涼しい箕面の山や森、夏休みは親子で昆虫や植物を観察しよう！

箕面市の森林面積は市域の約60%をしめており、身近で豊かな自然を体験することができます。しかし、今の子どもたちは予想以上に、山や森に出かける機会がありません。子どもたちの自然体験が多いほど、物事に対する意欲や関心が高くなるという調査結果が出ています。夏は、家族で、涼しい山や森に出かけて、自然を体験しましょう。

明治の森箕面国定公園では、自然体験の拠点として箕面ビジターセンターが整備されています。箕面の森の自然や生き物を紹介する展示室(無料)が充実している他、周辺の園地や自然歩道での散策も楽しめます。7月中旬から8月の夏休みの間は、平日も自然解説員が常駐していますので、気軽に声をかけてください。※休館日：毎週火曜日

小学校の校外学習について

ビジターセンターでは新型コロナウイルス拡大防止のため、小学校など団体向けの、校外学習の受け入れを休止していましたが、子どもたちに身近な自然にふれあっていただくための校外学習の受け入れを再開しています。

展示室の紹介や野外散策などのメニューを用意しています。受け入れの日程調整が必要なため、実施の1ヶ月以上前に、山麓委員会事務局にご連絡をお願いします。※詳しくは、ホームページをご覧ください。



6月1日に行われた 箕面市内小学校の4年生の校外学習(展示室の見学、野外散策)

山とみどりのフェスティバル シカ害対策 研究フォーラム ～9月24日(日)に開催～

箕面でも増えすぎたシカによる食害が大きな問題になっています。農林業被害、植生や森林更新への影響の他、シカは地表の植物だけでなく、冬には落葉も食べることから、地表が裸地化し、土壌の流出や保水力の低下により土砂崩れなどのリスクが高まるなど、私たちの生活にも影響を与える可能性があるかと懸念されています。

箕面のシカの生息状況、個体数管理の実情、植生保護の活動、植樹活動の課題などを報告します。シカたないでは済まされない、増えすぎたシカから箕面の森をどう守るか、何ができるのかを一緒に考えたいと思います。

日時: **9月24日(日)** 13:30～16:00(予定) 事前申込100名 参加費:無料 場所:箕面文化・交流センター8階大会議室

※こもれびの森(市有林):防鹿柵内に植樹したイロハモミジなどが、柵が壊れて進入したシカにより、全て食べられました。



亀裂ができて作業道が崩落



崩落により防鹿用の金柵が壊れて、柵内に進入したシカ



シカの食害をうけたイロハモミジ



山とみどりのフェスティバル 瀧安寺前広場などでの体験フェア ～11月3日(祝)に開催～



身近にある箕面の自然、多くの市民に親しんでもらい、森を守り、育て、活かす活動を知ってもらいたいという思いで、今年も、11月3日に山とみどりのフェスティバル/体験フェアを、瀧安寺前広場などで開催します。

ステージでは、楽しい音楽演奏や森の紙芝居などを行う他、広場では、たくさんの市民団体が集まって、間伐材を使ったきこり体験や自然素材を使った工作体験、木工品の頒布販売、箕面の生き物や自然の紹介、市民団体や山麓保全活動の紹介などを行います。

日時: **11月3日(祝)** 午前11時～午後3時30分(予定) ※雨天中止

場所: 箕面公園 瀧安寺前広場など

山林整備ボランティア養成講座 ～10月22日(土)に開催～



山林整備ボランティア養成講座を受けて、箕面の山で楽しく活動しませんか！山林所有者からのボランティア派遣要請が、毎年増えています。増えている派遣要請に応えるため、作業がしやすい冬の期間中に、一緒に活動していただけるボランティアを募集します。

初めてでも、ベテランの山林整備サポーターと一緒になので、安心して活動できます。

日時: **10月22日(土)** 午前10時～午後3時ごろ

集合: 箕面市粟生外院5丁目「皿池公園」午前10時15分

☆午前・・・技術や知識を学ぶ講義 午後・・・倒木処理や間伐などを体験

※参加費は無料、事前申込が必要(先着10名)

人と自然の入門講座 第19回 「みのお森の学校」9月から開校 ～受講生募集～

阪急梅田から約30分、身近にありながら豊かな自然が残っている箕面の里山がフィールドです。森や自然のこともっと知りたい、学びたい人のための連続講座です。実習と講義の連続講座なので、森を楽しむ新しい仲間にも出会えることでしょう。「箕面の森の守りびと」として楽しく活躍している仲間もたくさんいます。

☆2023年**9月17日(日)**～2024年**6月16日(日)**全12回、 ☆定員:20名(受付順) ☆受講料:15,000円(12回)

☆午前10時～12時(主に講義) 午後13時～15時(主に実習) ※特典:受講生に野鳥のブローチを進呈



野鳥のブローチ

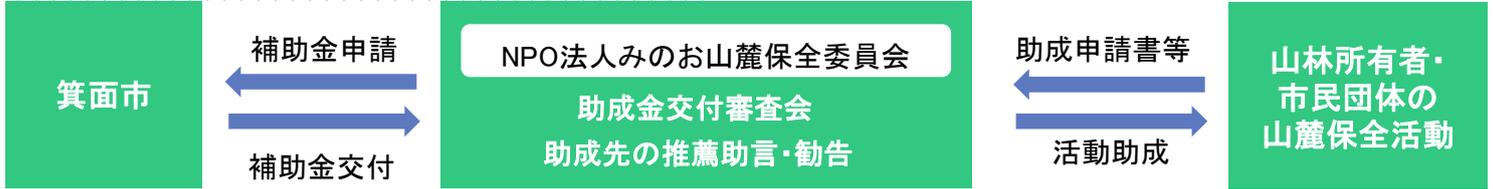
みのお山麓活動助成 後期 ～8月1日(月)から募集～

「みのお山麓保全活動助成金」は、四季折々に美しい箕面のみどり豊かな山麓を守り・育て・活かすために、山林所有者や市民の活動を資金面から応援(助成)する仕組みです。山麓保全委員会は、中間支援組織として、市民や山林所有者の活動支援や山麓保全活動助成金を活用した活動の相談、助成申請の受付などを行っています。

お気軽に山麓保全委員会事務局(電話:072-724-3615 携帯:090-1133-3615)にご相談ください。

○申請受付期間: **8月1日(月)～31日(水)** ○助成金額: 1件あたり25万円以内
○助成の流れ: 受付⇒ 審査会で助成先決定(9月下旬頃)⇒ 助成(10月下旬頃)

《みのお山麓保全活動助成金の仕組み》



里山の管理



シカ除けネットの設置



山道の手入れ



不法投棄ゴミの回収

【2023年度前期(2月期) みのお山麓保全活動の助成実績】

■山林所有者(箕面市環境保全条例による自然緑地指定同意書提出者)による活動を助成

件数: 70件、筆数: 188筆、面積: 377,912㎡、助成金額: 7,369,200円

☆山林整備ボランティア派遣要請件数: 45件(新規2件) ☆新規自然緑地同意件数: 1件、同意面積: 7,897㎡

■市民団体等による活動を助成 件数13件、助成金額: 1,611,000円

活動団体名	保全活動名	助成金額
01.箕面の山パトロール隊	山地美化活動を中心とした箕面の山のパトロール活動	¥250,000
02.箕面だんだんクラブ	箕面市体験学習の森の整備及び間伐材の有効活用	¥155,000
03.しおんじ山の会	しおんじ山(池ノ谷緑地)の再生・活用・整備活動	¥145,000
04.杜の会	民有林の整備活動	¥49,000
05.とんど山桜園の会	とんど山桜園の維持管理活動と里山文化の復活継承	¥59,000
06.みのおエコクラブ	自然保護の体験学習と実践、次世代後継者の育成	¥165,000
07.みのお森のふれあい広場運営委員会	山麓保全活動等の情報発信と関連イベントの実施	¥82,000
08.箕面生物多様性会議	オヶ原池周辺の生物多様性の復活推進	¥70,000
09.箕面の森のきこり隊	箕面里山の保全活動と人材育成	¥49,000
10.かやの中央まち育て交流会	第20回まんどろ火祭りの活動	¥250,000
11.箕面の森の音楽会実行委員会	箕面の森の音楽会の活動	¥180,000
12.箕面ナチュラルクラブ	里山とのふれあいと自然環境保全、啓発、動植物調査	¥151,000
13.外院の杜クラブ	箕面市「学校の森」の整備活動	¥6,000



■NPO山麓保全委員会は、5月28日に第22回定期総会を開き、2022年度事業報告・決算報告、2023年度事業計画・活動予算及び下記の役員選任案が承認されました。

理事: 角山年昭、成瀬英夫、村上竜太、中瀬重幸、鹿島幸子、中川弘佳、永浜久美恵、安田勇人、岩崎昭司(以上、再任)、監事: 山内一浩(再任)

総会終了後の理事会で代表、副代表などが互選されました。代表理事: 角山年昭(再任)

副代表理事: 成瀬英夫、村上竜太(以上、再任)、事務局長: 高島文明(再任)

NPO法人 みのお山麓保全委員会

〒562-0001箕面市箕面6-3-1 みのおサンプラザ1号館2階211号室

電話&FAX: 072-724-3615 携帯電話: 090-1133-3615

メール: yama-nami@yama-nami.net

ホームページ: www.yama-nami.net(検索: 山なみネット)

* 箕面の山麓保全情報のポータルサイト「みのお山なみネット」

